

農業・林業などの労働安全衛生がDX化できるか、死傷率軽減に役立つシステムを提案。
令和5年度山梨県産業安全衛生大会で「スマート林業安全 DX システム」の展示が決定。
- テレネット株式会社・プラムシステム有限会社による共同リリース-

テレネット株式会社が開発したデュアル SIM 対応無線機「ハザードトーク」に、プラムシステム有限会社が開発した安全機能を搭載した「スマート林業安全 DX システム」が、下記の日程で「令和5年度山梨県産業安全衛生大会」にて展示されますのでお知らせいたします。



標準アプリ

衝撃&接近アプリ

クラウド PC 画面

【令和5年度山梨県産業安全衛生大会・開催概要】

- 日程：10月5日（木）
- 時間：開会 13:30（開場 12:30 ～ 16:30）
- 場所：山梨県立文学館 講堂（甲府市貢川1-5-35）
- 本大会の詳細 URL：<http://www.yamanashi-roukiren.com/pdf/05.10.05.pdf>

注）一般社団法人 山梨県労働基準協会連合会 については、下記へ直接お問合せください。

電話 055-251-6626

<http://www.yamanashi-roukiren.com/>

林業課題：

年間死者数30人以上の林業の現場課題の1つとして、木を伐採する際の安全確保が挙げられます。安全対策として、作業を始める際に作業者が笛を吹いて警告を發しますが、多くの作業員が音を遮断するイヤホンマフを装着しているため、この警告音が届かず、事故が起きてしまうケースが多くみられます。現場作業者同士の情報共有がないのが主な原因です。

この問題を解消するため、情報共有が簡単にできる無線機「ハザードトーク」に「SOS 發信機能」と「接近通知センサー」の2つの安全機能を搭載したものが「スマート林業安全 DX システム」です。

事前の作業現場の情報を取得し作業計画を立てることで事故を未然に防げます。

SOS 發信機能は、滑落などの強い衝撃や作業車両の横転などを検知し、その位置情報を含む警報を自動でサーバーに發信する機能です。これらの機能により、作業員の安全がさらに向上することが期待されます。林業以外の分野、建設重機の転倒衝撃、農業トラクターなどの転倒衝撃、運搬車の衝撃転倒などに応用可能であり、林業や農業、土木建設業などに携わる皆様に、ぜひご注目いただきたい技術です。

テレネット株式会社は、全国で 3,000 社以上の企業・団体に災害対策サービスにおいて多くのノウハウを持ち、プラムシステム有限会社は 2014 年から騒音環境下緊急伝達装置（キツツキハンマー）を研究し林業を中心に土木建築、農業などの労働災害の軽減のためのシステムを開発しています。

両社は、引き続き業務課題解決に繋がる機能のカスタマイズに取り組んでまいります。

■「スマート林業安全 DX システム」のお問い合わせ先

プラムシステム有限会社 Tel : 090-3594-1336

E-mail: keigo.matsumoto@plum-syst.com

■テレネット株式会社 会社概要

- ・会社名：テレネット株式会社
- ・本社所在地：長野県飯田市駄科 1956-5
- ・代表者：代表取締役社長 青山 貴子
- ・設立：1998 年 8 月 11 日
- ・事業内容：緊急地震速報システム・防災コンサルティング、企業・公共団体への BCP 対策サービス提供
- ・コーポレートサイト：<https://telenet.co.jp/>

■プラムシステム有限会社 会社概要

- ・会社名：プラムシステム有限会社
- ・本社所在地：東京都中央区日本橋 2 丁目 1-17 丹生ビル 2 階
八ヶ岳プラム Lab（山梨県北杜市）
- ・代表者：松本 敬吾
- ・設立：1994 年 11 月 22 日
- ・事業内容：設立当初から高速デジタル信号処理（DSP & FPGA）システムの企画開発
2014 年から無線とセンサーを利用した騒音環境下緊急伝達装置「キツツキハンマー」
を開発し作業死傷事故の多い土木建築向けや林業向けの安全装置を企画販売中
- ・コーポレートサイト：<http://www.plum-syst.com/>